

資料編

1 市民アンケート（令和元年度実施）の結果

【問1】あなたは、動物が好きですか。（○は1つだけ）

1. 好き	(54.7%)	2. どちらかと言えば好き	(21.9%)
3. どちらでもない	(15.3%)	4. どちらかと言えば嫌い	(5.1%)
5. 嫌い	(1.6%)		

【問2】あなたは、現在ペットとしてどんな動物を飼っていますか。（○はいくつでも）

1. 犬	} ➡【問3】へ	(13.3%)	6. ハムスター	(1.0%)	} ➡【問7】へ
2. 猫		(8.7%)	7. うさぎ	(0.7%)	
3. 魚類	} ➡【問7】へ	(6.1%)	8. その他	(1.9%)	
4. 鳥類		(2.4%)	(具体的に：)		
5. は虫類		(1.2%)	9. 飼っていない	(52.8%)	

【問3】《問2で、「1」または「2」と回答した方（犬または猫を飼っている方）におたずねします。》

犬・猫を飼っている場所と、普段、主にフンをさせている場所を教えてください。
（飼っている犬・猫それぞれについて、該当する番号に1つだけ○をつけてください。）

	飼っている場所	主にフンをさせている場所
犬	1. 室内のみ (77.7%)	1. 自宅に設置した犬専用トイレ (51.5%)
	2. 室内及び屋外 (14.6%)	2. 自宅の敷地内 (10.8%)
	3. 屋外のみ (6.2%)	3. 公園、道路、空地 (31.5%)
		4. その他（具体的に： ） (0.0%)
		5. どこでしているかわからない (0.0%)
猫	1. 室内のみ (85.9%)	1. 自宅に設置した猫専用トイレ (88.2%)
	2. 室内及び屋外 (11.8%)	2. 自宅の敷地内 (2.4%)
	3. 屋外のみ (2.4%)	3. 公園、道路、空地 (0.0%)
		4. その他（具体的に： ） (1.2%)
		5. どこでしているかわからない (0.0%)

【問4】《問2で、「1」または「2」と回答した方（犬または猫を飼っている方）におたずねします。》

飼っている犬猫に避妊または去勢手術をしていますか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|----------------|---------|---------------|--------|
| 1. すべての犬猫にしている | (69.1%) | 2. 一部の犬猫にしている | (2.9%) |
| 3. していない | (18.6%) | 4. わからない | (0.0%) |

【問5】《問4で、「2. 一部の犬猫にしている」「3. していない」と回答した方におたずねします。》

避妊去勢手術をしていない理由はなんですか。（○はいくつでも）

- | | | | |
|---------------------|---------|-------------|---------|
| 1. 繁殖する機会がない | (54.5%) | 2. かわいそうだから | (22.7%) |
| 3. 手術費用が高い | (13.6%) | 4. 子を産ませたい | (4.5%) |
| 5. 今後する予定が決まっている | (0.0%) | 6. 面倒だから | (4.5%) |
| 7. 手術をするメリットがない | (13.6%) | 8. わからない | (2.3%) |
| 9. その他（具体的に： ） | (31.8%) | | |

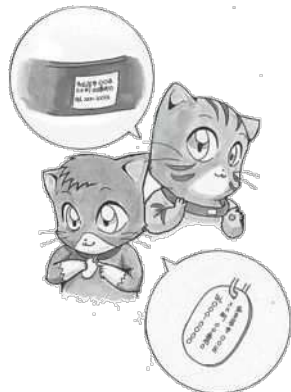
【問6】《問2で、「1」または「2」と回答した方（犬または猫を飼っている方）におたずねします。》

飼っている犬猫に飼主の氏名や連絡先がわかるものを装着していますか。

（○はいくつでも）

- | | | | |
|---------------|---------|---------------------|---------|
| 1. 鑑札 | (10.8%) | 2. 迷子札 | (5.4%) |
| 3. 連絡先を記載した首輪 | (9.3%) | 4. マイクロチップ※ | (25.0%) |
| 5. 装着していない | (54.4%) | 6. その他（具体的に： ） | (1.0%) |

※マイクロチップとは、専用の注射器で皮膚の下に埋め込む動物の個体識別ができる器具です。



マイクロチップ

【問 7】あなたは、ペットに関する情報を主にどこで見聞きすることが多いですか

(○は3つまで)

1. テレビ	(68.4%)	2. ラジオ	(3.9%)
3. 新聞	(20.6%)	4. 雑誌・書籍	(10.7%)
5. ホームページ	(11.5%)	6. 家族・親族	(8.0%)
7. 動物愛護センター	(1.1%)	8. 保健センター	(0.3%)
9. 動物取扱業（ペットショップ、トリミングショップなど）	(15.3%)	10. 動物病院	(12.3%)
11. 行政の刊行物（広報なごや、リーフレットなど）	(6.2%)	12. SNS（ソーシャル・ネットワーキングサービス）	(20.3%)
13. その他（具体的に：　　）	(3.1%)		
14. 特にない	(9.8%)		

【問 8】あなたは、現在犬による迷惑を感じていますか。(○はいくつでも)

1. 鳴き声がうるさい	(11.1%)	2. 悪臭がする	(2.3%)
3. ふん尿の放置	(28.1%)	4. 病気をうつされる心配がある	(2.0%)
5. 毛が飛んでくる	(3.6%)	6. 犬の放し飼い	(4.3%)
7. その他（具体的に：　　）	(2.7%)		
8. 特に迷惑を感じていることはない	(61.6%)		

【問 9】あなたは、現在猫による迷惑を感じていますか。(○はいくつでも)

1. 鳴き声がうるさい	(13.0%)	2. 悪臭がする	(6.4%)
3. ふん尿の放置	(28.8%)	4. 病気をうつされる心配がある	(3.9%)
5. 毛が飛んでくる	(2.0%)	6. 自動車や植木などを傷つける	(7.5%)
7. ごみを荒らされる	(12.2%)	8. 猫の数が増えすぎている	(10.5%)
9. エサやりによるごみの散乱	(6.2%)		
10. その他（具体的に：　　）	(6.1%)		
11. 特に迷惑を感じていることはない	(50.6%)		

【問 10】あなたは、もし他人のペットやのら猫のことで困ったときにどのように対処しますか。(○はいくつでも)

1. 自分で解決する	(21.4%)	2. 近隣の方に相談する	(17.1%)
3. 知人・友人に相談する	(18.9%)	4. 保健センターに相談する	(22.0%)
5. 動物愛護センターに相談する	(12.9%)	6. 警察に相談する	(7.0%)
7. 動物病院に相談する	(7.0%)	8. 動物取扱業（ペットショップ、トリミングショップなど）に相談する	(2.7%)
9. どうしていいかわからない	(34.8%)		
10. その他（具体的に：　　）	(5.7%)		

【問 11】あなたは、お住まいの地域で屋外にいる猫を見かけますか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|--------------|---------|------------|---------|
| 1. よく見かける | (38.9%) | 2. 時々見かける | (45.0%) |
| 3. ほとんど見かけない | (12.1%) | 4. 全く見かけない | (2.9%) |

【問 12】あなたは、のら猫にエサを与えることについてどう思いますか。

（○は1つだけ）

- | | | | |
|--------------|---------|--------------------|---------|
| 1. よいと思う | (3.2%) | 2. どちらかと言うとよいと思う | (3.9%) |
| 3. どちらとも言えない | (23.8%) | 4. どちらかと言うとよくないと思う | (25.2%) |
| 5. よくないと思う | (42.6%) | | |

のら猫を増やさない手段として、のら猫を捕獲(Trap)し、避妊去勢手術(Neuter)を施して、元のテリトリーに戻す(Return)という活動(TNR活動)があります。

【問 13】あなたは、公園にいるのら猫を手術することについてどう思いますか。

（○は1つだけ）

- | | | | |
|--------------|---------|--------------------|---------|
| 1. よいと思う | (54.1%) | 2. どちらかと言うとよいと思う | (21.4%) |
| 3. どちらとも言えない | (18.0%) | 4. どちらかと言うとよくないと思う | (2.2%) |
| 5. よくないと思う | (3.1%) | | |

飼主のいない猫による迷惑を減らすために、ボランティアや地域の方々が避妊去勢手術をし、その猫が寿命を全うするまで、適切な餌やりやフン尿の始末などを地域で行う「なごやかキャットサポーター活動(地域猫活動)」を本市は推進しています。

【問 14】あなたがお住まいの地区で「なごやかキャットサポーター活動」が行われるとしたら、あなたは参加したいと思いますか。（○は1つだけ）

- | | | | |
|--------------|---------|----------------|---------|
| 1. 積極的に参加したい | (1.1%) | 2. できる範囲で参加したい | (18.8%) |
| 3. 参加したくない | (44.1%) | 4. わからない | (33.8%) |

【問 15】《問 14 で、「1」または「2」と回答した方（なごやかキャットサポーター活動に参加したい方）におたずねします。》

あなたは、「なごやかキャットサポーター活動」にどのような役割なら参加できると思いますか。（〇はいくつでも）

1. エサやり・片付け	(51.8%)	2. フン尿等の掃除	(21.0%)
3. 猫の保護	(22.1%)	4. 募金活動等	(12.8%)
5. 資金の寄付等	(38.5%)	6. 情報収集と報告	(27.7%)
7. その他（具体的に：)	(2.1%)		

【問 16】あなたは、動物愛護センターという施設を知っていますか。

（〇は1 っだけ）

1. はい ➡ 【問 17】へ	(69.3%)	2. いいえ ➡ 【問 18】へ	(27.8%)
-----------------	---------	------------------	---------

【問 17】《問 16 で、「1. はい」と回答した方におたずねします。》

あなたは、動物愛護センターが行う次の業務をご存知でしたか。

（〇はいくつでも）

1. 犬猫の譲渡会の開催	(79.4%)	2. 犬猫がいなくなった時の相談	(24.7%)
3. 犬猫に関わるトラブルの相談	(27.1%)	4. しつけなど犬猫の飼育の相談	(27.1%)
5. 動物愛護の啓発	(47.8%)	6. 犬猫が飼えなくなった時の相談	(55.7%)
7. いずれも知らない	(7.2%)		

【問 18】動物愛護センターでは、飼えなくなった犬猫、迷子の犬などの新しい飼主を募集する譲渡会を行っています。あなたは、譲渡会がどのようなところで行われればより多くの犬猫に飼主が見つかると思いますか。（〇は1 っだけ）

1. 近隣の公共施設（区役所など）	(17.3%)	2. 民間商業施設	(43.4%)
3. 動物愛護センター	(9.1%)	（ショッピングセンターなど）	
4. わからない	(16.1%)	5. その他（具体的に：)	(3.3%)

【問 19】あなたは、犬猫の譲渡を受け飼主となる方に寄附金を活用した支援を行うとしたら、どのような支援がよいと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 健康診断	(43.5%)	2. トリミングやシャンプー	(8.7%)
3. 予防接種	(73.5%)	4. 避妊去勢手術	(58.3%)
5. しつけ	(29.4%)	6. 専門家による訓練	(12.3%)
7. その他(具体的に:)	(2.9%)		

動物愛護センター愛護館は「人と動物のふれあいの場」として多くの方に親しんでいただく機会を提供するとともに、動物愛護とペットの適切な飼い方を普及啓発するための教室・イベントの開催などを行っています。

【問 20】あなたは、動物愛護センター愛護館に今後どのような事業に力を入れてほしいと思いますか。(〇は2つまで)

1. 犬猫の譲渡会の開催	(43.1%)	2. 犬猫の正しい飼い方の相談・教室	(48.0%)
3. 犬猫とのふれあい	(12.0%)	4. 子ども向けの動物愛護教室	(15.2%)
5. 動物愛護に関する情報発信	(17.6%)	6. 動物介在活動※	(17.4%)
7. わからない	(13.0%)		
8. その他(具体的に:)	(3.9%)		

※動物介在活動とは、高齢者等を対象としてやすらぎやコミュニケーションの活性化等を期待して行う動物とのふれあい活動です。

名古屋市では、繁殖防止措置(避妊去勢手術)を行わなかったため犬猫が増えてしまい、犬猫の健康状態が悪化したり、騒音や悪臭など近隣の生活環境に影響が生じる、いわゆる多頭飼育崩壊が問題となっています。また、多頭飼育の飼主が飼育しきれなくなり、動物愛護センターに引取りを求める事例が増えています。

【問 21】あなたは、多頭飼育の飼主にこういったことが必要だと思いますか。
(〇はいくつでも)

1. 行政による早期の把握と指導が行える制度	(60.9%)
2. 避妊去勢手術費用の支援	(34.0%)
3. 行政が飼主に代わって避妊去勢手術を行う	(22.7%)
4. 新たな飼主探しの支援	(40.6%)
5. その他(具体的に:)	(8.3%)
6. わからない	(10.3%)

【問22】あなたは、人とペットが共に生きていく社会を築くためには、名古屋市の事業としてどのようなことを重点的に行うことが必要だと思いますか。

(○は2つまで)

1. 広く市民に、動物愛護についての意識を高めるような啓発をする	(17.7%)
2. 地域の方々と協力し、動物による迷惑行為を防ぐような対策を推進する (地域住民との協働による地域猫活動やイエローチョーク作戦(※)の実施など)	(25.0%)
3. 飼主の自覚を促すような啓発をする(人に迷惑をかけないように促すなど)	(30.1%)
4. 飼主等の迷惑行為に対する指導や規制を強化する (犬の放し飼いやのら猫へのエサやりなど)	(37.9%)
5. 動物を扱う業者との連携を強化する	(9.9%)
6. 正しい飼い方をするための飼主支援を充実させる	(14.4%)
7. のら猫対策を強化する(のら猫の繁殖防止など)	(21.6%)
8. 民間組織やボランティアとの連携を強化する	(8.4%)
9. 犬猫の譲渡事業を推進する(身近な場所での譲渡会の開催など)	(17.4%)
10. その他(具体的に：)	(4.4%)
11. わからない	(5.0%)

※イエローチョーク作戦とは、犬のフン害防止対策として、放置された犬のフンの周りを黄色のチョークで囲み、日時を書くことによって放置した飼主に、困っている人や迷惑を被っている人がいることを伝える方法です。

最後に、アンケートを統計的に分析するために、あなた自身のことについておたずねします。（この質問によって個人が特定されることはありません。）

F1 性別（○は1つだけ）

1. 男性	(42.5%)	2. 女性	(57.5%)
-------	---------	-------	---------

F2 年代（平成31年4月1日時点）（○は1つだけ）

1. 10歳代	(1.7%)	2. 20歳代	(8.1%)	3. 30歳代	(14.2%)
4. 40歳代	(20.2%)	5. 50歳代	(17.7%)	6. 60歳代	(17.3%)
7. 70歳以上	(20.8%)				

F3 住居形態（○は1つだけ）

1. 戸建て	(49.3%)	2. ペット可の集合住宅	(19.5%)
3. ペット不可の集合住宅	(30.2%)	4. その他（具体的に： ）	(0.0%)

F4 住居区（○は1つだけ）

1. 千種区	(5.9%)	2. 東区	(3.1%)	3. 北区	(6.4%)	4. 西区	(6.5%)
5. 中村区	(5.8%)	6. 中区	(3.2%)	7. 昭和区	(5.3%)	8. 瑞穂区	(4.9%)
9. 熱田区	(2.9%)	10. 中川区	(9.7%)	11. 港区	(5.4%)	12. 南区	(5.7%)
13. 守山区	(7.6%)	14. 緑区	(11.4%)	15. 名東区	(8.2%)	16. 天白区	(7.6%)

2 計画の策定経過

計画の策定の参考とするため、以下のとおり意見聴取会、市民アンケート及び検討会を実施しました。

(1) 意見聴取会

ア 譲渡ボランティア

(ア)対 象 名古屋市動物愛護センターから動物を譲り受けて飼養し、新たな飼主を探して譲渡するボランティア 28 名

(イ)実施日時 令和元年 5 月 10 日（金）18 時 30 分から 20 時 30 分

(ウ)実施場所 名古屋都市センター 14 階 第 2 会議室（中区金山町 1-1-1）

(エ)実施内容 民間事業者（ファシリテーター）の進行により、「人とペットの共生するまち・なごや」及び「猫の譲渡適性評価」について意見を聴取

イ 動物愛護推進員

(ア)対 象 名古屋市の動物愛護と正しい飼い方の普及啓発について協力するボランティア 45 名

(イ)実施日時 令和元年 5 月 21 日（火）14 時 00 分から 16 時 00 分

(ウ)実施場所 名古屋市動物愛護センター 2 階 ワンワン教室

(エ)実施内容 民間事業者（ファシリテーター）の進行により、「人とペットの共生するまち・なごや」について意見を聴取

(2) 市民アンケート

ア 対 象 住民基本台帳から無作為抽出した、名古屋市内に居住する 18 歳以上の者（外国人を含む）2,000 名

イ 調査方法 郵送

ウ 実施期間 令和元年 5 月 23 日（木）から令和元年 6 月 10 日（月）まで

エ 調査結果 有効回答数 981 通（49.1％）

(3) 名古屋市動物愛護管理推進計画策定等に関する検討会（令和元年 5 月設置）

ア 構成員と事務局

構成員	職名・役職等	出席者名
	名古屋市保健環境委員会代表 中村区保健環境委員会会長	浅井 秀子
	愛知ペット事業組合長	石原 幹章
	NPO 法人人と動物の共生センター理事長・獣医師	奥田 順之
	岐阜大学応用生物科学部獣医学科客員准教授・弁護士	鈴木 智洋
	広島大学 大学院統合生命科学研究科 陸域生物圏フィールド科学講座助教	妹尾 あいら

	新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会顧問	高木 優治
	日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科 野生動物学研究室助教・獣医師	田中 亜紀
	ネスレ日本株式会社	内記 利宏
	イオンペット株式会社	松井 宏太
	公益社団法人名古屋市獣医師会会長	三浦 春水
	上智大学大学院博士後期課程 法学研究科法律学（行政法）専攻	箕輪 さくら
	愛知県愛玩動物協会代表	山本 厚
	一般社団法人全国ペット協会専務理事 中央環境審議会動物愛護部会臨時委員	脇田 亮治

（敬称略、五十音順）

事務局	健康福祉局健康部食品衛生課	動物愛護センター
	保健センター所長代表	健康福祉局障害福祉部障害企画課
	健康福祉局生活福祉部保護課	健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課
	教育委員会事務局学校教育部指導室	住宅都市局住宅部住宅管理課
	緑政土木局緑地部緑地管理課	緑政土木局東山総合公園

イ 検討会の概要

	日時	内容
第1回	令和元年6月27日（木） 13:30～15:30	譲渡頭数増加に向けた取り組み ・動物愛護センターの機能強化 ・譲渡事業の推進
第2回	令和元年7月23日（火） 13:30～15:30	収容頭数削減に向けた取り組み ・多頭飼育問題への対応
第3回	令和元年8月21日（水） 13:30～15:30	収容頭数削減に向けた取り組み ・のら猫問題への対策
第4回	令和元年9月20日（金） 13:30～15:30	動物の愛護及び管理の推進に関する取り組み ・飼主の指導 ・動物愛護及び適正飼養の普及・啓発
第5回	令和元年10月24日（木） 13:30～15:30	検討会の意見まとめ ・名古屋市動物愛護推進計画案 ・名古屋市動物愛護管理条例改正の考え方案

3 計画見直しの経過

計画の見直しの参考とするため、市民アンケート及び協議会を実施しました。

(1) 令和5年度市民アンケート

ア 対 象 住民基本台帳から無作為抽出した、名古屋市内に居住する18歳以上の者
(外国人を含む) 2,000名

イ 調査方法 郵送

ウ 実施機関 令和5年10月13日(金)から令和5年11月10日(金)まで

エ 調査結果 有効回答数911通(45.6%)

<結果>

問1 あなたは、動物が好きですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---|------------|---------|
| 1 | 好き | (53.2%) |
| 2 | どちらかと言えば好き | (26.1%) |
| 3 | どちらでもない | (14.8%) |
| 4 | どちらかと言えば嫌い | (3.6%) |
| 5 | 嫌い | (1.9%) |

問2 あなたのご家庭では、ペットとしてどんな動物を飼っていますか。(○はいくつでも)

※あなたや、あなたを含むご家族で世話をしているペットについてお答えください。

- | | | | |
|---|-------------|---------|--|
| 1 | 犬 ⇒【問3へ】 | (14.3%) | |
| 2 | 猫 ⇒【問4へ】 | (11.1%) | |
| 3 | 魚類 | (6.9%) | |
| 4 | 鳥類 | (1.3%) | |
| 5 | は虫類 | (0.9%) | |
| 6 | ハムスター | (0.7%) | |
| 7 | うさぎ | (1.2%) | |
| 8 | その他(具体的に:) | (2.1%) | |
| 9 | 飼っていない | (61.6%) | |
- ⇒【問9へ】

《問2で1と答えた方（犬を飼っている方）におたずねします。》

問3 あなたのご家庭では、主にどこで犬にフンをさせていますか。（〇は1つだけ）

- | | | |
|---|---------------|---------|
| 1 | 自宅に設置した犬専用トイレ | (54.6%) |
| 2 | 自宅の敷地内 | (9.2%) |
| 3 | 公園、道路、空地 | (31.5%) |
| 4 | その他（具体的に： ） | (1.5%) |

《問2で2と答えた方（猫を飼っている方）におたずねします。》

問4 あなたのご家庭では、どこで猫を飼っていますか。（〇は1つだけ）

- | | | |
|---|--------|---------|
| 1 | 室内のみ | (96.0%) |
| 2 | 室内及び屋外 | (3.0%) |
| 3 | 屋外のみ | (0.0%) |

《問2で2と答えた方（猫を飼っている方）におたずねします。》

問5 あなたのご家庭では、どこから猫をむかえ入れましたか。（〇はいくつでも）

- | | | |
|---|---|---------|
| 1 | ペットショップ | (17.8%) |
| 2 | ブリーダー | (3.0%) |
| 3 | 動物愛護センターなど行政の施設 | (5.9%) |
| 4 | 動物愛護団体（譲渡会を含む） | (12.9%) |
| 5 | 知人・友人から譲り受けた | (17.8%) |
| 6 | 拾った・迷い込んできた | (41.6%) |
| 7 | インターネットを経由して個人間で譲り受けた
（新たな飼主を募集するサイト・地域密着型掲示板サービスなど） | (1.0%) |
| 8 | その他（具体的に： ） | (9.9%) |

《問2で1、2と答えた方（犬または猫を飼っている方）におたずねします。》

問6 あなたのご家庭では、犬猫が迷子になった場合に備え、どのような方法で飼主氏名や連絡先がわかるようにしていますか。（〇はいくつでも）

- | | | |
|---|-------------|---------|
| 1 | 犬鑑札 | (15.6%) |
| 2 | 迷子札 | (5.2%) |
| 3 | 連絡先を記載した首輪 | (10.0%) |
| 4 | マイクロチップ | (36.4%) |
| 5 | 何もつけていない | (41.1%) |
| 6 | その他（具体的に： ） | (1.3%) |

《問2で1、2と答えた方（犬または猫を飼っている方）におたずねします。》

問7 あなたのご家庭では、飼っている犬猫に避妊または去勢手術をしていますか。

（○は1つだけ）

- | | | | |
|---|-------------|--------|---------|
| 1 | すべての犬猫にしている | ⇒【問9へ】 | (74.0%) |
| 2 | 一部の犬猫にしている | | (4.8%) |
| 3 | していない | | (13.0%) |
| 4 | わからない | ⇒【問9へ】 | (0.4%) |

▶《問7で2または3と答えた方におたずねします。》

問8 あなたのご家庭で飼っている犬猫に、避妊去勢手術をしていない理由はなんですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|---|------------------------|---------|
| 1 | 繁殖する機会がない | (46.3%) |
| 2 | かわいそうだから | (31.7%) |
| 3 | 手術費用が高い | (17.1%) |
| 4 | 子を産ませたい | (12.2%) |
| 5 | 今後手術する予定が決まっている | (0.0%) |
| 6 | 面倒だから | (0.0%) |
| 7 | 手術をするメリットがない | (4.9%) |
| 8 | わからない | (4.9%) |
| 9 | その他（具体的に： ） | (17.1%) |

《すべての方におたずねします。》

問9 あなたが、現在犬によって迷惑に感じていることは何ですか。（○はいくつでも）

- | | | |
|---|------------------------|---------|
| 1 | 鳴き声がうるさい | (15.5%) |
| 2 | 悪臭がする | (4.4%) |
| 3 | ふん尿の放置 | (34.9%) |
| 4 | 病気をうつされる心配がある | (2.2%) |
| 5 | 毛が飛んできてくる | (5.6%) |
| 6 | 犬の放し飼い | (5.6%) |
| 7 | その他（具体的に： ） | (4.3%) |
| 8 | 特に迷惑を感じていることはない | (51.0%) |

問 10 あなたが、現在猫によって迷惑に感じていることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|----|-----------------|---------|
| 1 | 鳴き声がうるさい | (9.5%) |
| 2 | 悪臭がする | (8.6%) |
| 3 | ふん尿の放置 | (35.1%) |
| 4 | 病気をうつされる心配がある | (4.3%) |
| 5 | 毛が飛んでくる | (4.1%) |
| 6 | 自動車や植木などを傷つける | (7.8%) |
| 7 | ごみを荒らされる | (10.8%) |
| 8 | 猫の数が増えすぎている | (8.5%) |
| 9 | エサやりによるごみの散乱 | (7.1%) |
| 10 | その他(具体的に:) | (7.2%) |
| 11 | 特に迷惑を感じていることはない | (44.6%) |

問 11 あなたは、お住まいの地域で屋外にいる猫を見かけますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|---|-----------|---------|
| 1 | よく見かける | (29.6%) |
| 2 | 時々見かける | (45.1%) |
| 3 | ほとんど見かけない | (20.6%) |
| 4 | 全く見かけない | (3.5%) |

問 12 あなたは、「TNR 活動」を知っていましたか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|---|---|---------|
| 1 | 言葉も内容も知っていた | (12.2%) |
| 2 | 言葉は知っていたが、内容を理解していなかった | (3.2%) |
| 3 | TNR 活動という言葉は知らなかったが、
そうした活動があることは知っていた | (38.9%) |
| 4 | 言葉も内容も知らなかった | (44.5%) |

問 13 あなたは、「地域猫活動」を知っていましたか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|---|--|---------|
| 1 | 言葉も内容も知っていた | (19.5%) |
| 2 | 言葉は知っていたが、内容を理解していなかった | (14.1%) |
| 3 | 地域猫活動という言葉は知らなかったが、
そうした活動があることは知っていた | (15.0%) |
| 4 | 言葉も内容も知らなかった | (49.6%) |

問 14 あなたは、「地域猫活動」のうち、どの部分が最も大変そうだと思いますか。

(○は1つだけ)

1 地域住民の合意を形成すること※	(26.9%)
2 のら猫を捕まえること	(16.5%)
3 エサやりする場所・トイレを置く場所を見つけること	(7.7%)
4 エサやり・トイレの片づけを毎日行うこと	(28.4%)
5 エサ代を地域住民で負担すること	(7.4%)
6 その他(具体的に:)	(1.4%)
7 特に大変そうだと思うことはない	(3.0%)

※ここでいう合意とは、全員賛成ということではなく、静観する(活動を見守る)ことで意見が一致することを指します。

問 15 あなたは、千種区にある「名古屋市動物愛護センター」という施設を知っていましたか。(○は1つだけ)

1 知っていた	(45.3%)
2 知らなかった ⇒ 【問 17 へ】	(52.0%)

▶ 《問 15 で1と答えた方(知っている方)におたずねします。》

問 16 名古屋市動物愛護センターが行う次の業務のうち、あなたが知っている業務はどれですか。(○はいくつでも)

1 犬猫の譲渡	(89.8%)
2 犬猫がいなくなった時の相談	(16.2%)
3 犬猫に関わるトラブルの相談	(17.2%)
4 しつけなど犬猫の飼育の相談	(24.2%)
5 動物愛護の啓発	(42.9%)
6 犬猫が飼えなくなった時の相談	(37.5%)
7 いずれも知らない	(4.1%)

《すべての方におたずねします。》

名古屋市動物愛護センターには、飼主からの引取り、迷子犬、親猫とはぐれた産まれたばかりの子猫、路上で負傷した犬猫など、様々な理由により犬猫が収容されます。犬と子猫の収容は減少傾向にありますが、多頭飼育崩壊などによる成猫（おとなの猫）の収容は年々増加しており、本市では成猫の譲渡がなかなか進まないという課題を抱えています。

問 17 猫を譲り受けるとしたら、あなたのご家庭では子猫と成猫どちらを希望しますか。

（○は1つだけ）

- | | |
|----------------------------------|---------|
| 1 子猫・成猫を問わず譲り受けたい ⇒【問20へ】 | (11.2%) |
| 2 子猫を譲り受けたい（成猫は譲り受けたくない） ⇒【問18へ】 | (12.6%) |
| 3 成猫を譲り受けたい（子猫は譲り受けたくない） | (1.3%) |
| 4 猫を譲り受けたくない ⇒【問19へ】 | (72.6%) |

《問 17 で2と答えた方（子猫を譲り受けたい方）におたずねします。》

問 18 あなたのご家庭で、そう答えた主な理由を教えてください。（○は1つだけ）

- | | |
|-----------------------------|----------|
| 1 子猫から飼って成長を見守りたいから | (67.8%) |
| 2 成猫は人になつかなさそうだから | (18.3%) |
| 3 成猫より子猫の方が、先住動物と相性が良さそうだから | (11.3%) |
| 4 その他（具体的に： | ） (2.6%) |

《問 17 で4と答えた方（猫を譲り受けたくない方）におたずねします。》

問 19 あなたのご家庭で、そう答えた理由を教えてください。（○は2つまで）

- | | |
|----------------------------|----------|
| 1 猫が飼える住宅ではないから | (27.5%) |
| 2 自分や家族が猫アレルギーだから | (19.4%) |
| 3 十分に猫の世話ができないから（時間・労力） | (27.1%) |
| 4 飼育には費用が掛かるから | (8.0%) |
| 5 自分や家族の年齢を考えると、最期まで飼えないから | (20.1%) |
| 6 猫との別れが辛いから | (7.6%) |
| 7 先住動物との相性が不安だから | (6.7%) |
| 8 猫が好きではないから | (24.8%) |
| 9 その他（具体的に： | ） (7.4%) |

《すべての方におたずねします。》

問20 あなたは、人とペットが共に生きていく社会を築くためには、本市の事業としてどのようなことを重点的に行うことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

1	広く市民に、動物愛護についての意識を高めるような啓発をする	(18.8%)
2	地域の方々と協力し、動物による迷惑行為を防ぐような対策を推進する (地域猫活動やイエローチョーク作戦の実施など)	(20.1%)
3	飼主の自覚を促すような啓発をする(人に迷惑をかけないように促すなど)	(31.5%)
4	犬の飼主の迷惑行為に対する指導や規制を強化する(犬の放し飼いなど)	(14.5%)
5	猫の飼主等の迷惑行為に対する指導や規制を強化する (周辺の生活環境の悪化につながるようなのら猫へのエサやりなど)	(20.4%)
6	動物を扱う業者との連携を強化する	(9.3%)
7	ペットの飼育に不安を抱える飼主への支援を充実させる	(6.5%)
8	のら猫の繁殖防止対策を強化する(TNR活動支援など)	(25.1%)
9	民間組織やボランティアとの連携を強化する	(10.4%)
10	犬猫の譲渡事業を推進する(身近な場所での譲渡会の開催など)	(15.1%)
11	その他(具体的に：)	(4.0%)
12	わからない	(5.5%)

最後に、アンケートを統計的に分析するために、あなた自身のことについておたずねします。（この質問によって個人が特定されることはありません。）

F1 性別（○は1つだけ）

1 男性 (37.9%)	2 女性 (60.5%)	3 その他 (0.1%)
--------------	--------------	--------------

F2 年代（令和5年4月1日時点）（○は1つだけ）

1 10歳代(1.1%)	2 20歳代(7.2%)	3 30歳代(11.4%)	4 40歳代(13.5%)
5 50歳代(17.3%)	6 60歳代(19.1%)	7 70歳以上(28.9%)	

F3 住居形態（○は1つだけ）

1 ペット可の戸建て (48.2%)	2 ペット不可の戸建て (4.8%)
3 ペット可の集合住宅 (15.0%)	4 ペット不可の集合住宅 (28.4%)
5 その他（具体的に： ）(1.3%)	

F4 住居区（○は1つだけ）

1 千種区(7.9%)	2 東区 (3.0%)	3 北区 (7.4%)	4 西区 (6.5%)
5 中村区(5.8%)	6 中区 (3.3%)	7 昭和区(4.7%)	8 瑞穂区(4.8%)
9 熱田区(3.3%)	10 中川区(8.1%)	11 港区 (5.9%)	12 南区 (5.7%)
13 守山区(6.6%)	14 緑区 (11.1%)	15 名東区(7.5%)	16 天白区(6.8%)

(2) 名古屋市人とペットの共生推進協議会の実施状況

ア 構成員と事務局

構 成 員	所属・役職等	氏名
	愛知ペット事業組合 組合長	石原 幹章
	NPO 法人人と動物の共生センター 理事長	奥田 順之
	ネスレ日本株式会社 ネスレ ピュリナ ペットケア マーケティング部	小幡 メグ
	名古屋市保健環境委員会 副会長	亀垣 伊都子
	公募委員	佐橋 弘高
	鈴木・久保田法律事務所 代表弁護士	鈴木 智洋
	元新宿区人と猫との調和のとれたまちづくり連絡協議会 顧問	高木 優治
	日本獣医生命科学大学獣医学部獣医学科野生動物学研究室 特任教授	田中 亜紀
	名古屋市動物愛護推進員	中野 由里子
	イオンペット株式会社リテール事業本部東海支社 支社長	藤崎 恵弥
	公益社団法人名古屋市獣医師会 会長	三浦 春水
	社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会在宅福祉事業本部 在宅福祉事業本部長	三浦 岬美子
	名古屋学院大学現代社会学部現代社会学科 准教授	水谷 香織
	愛知県愛玩動物協会 代表	山本 厚
	一般社団法人全国ペット協会 専務理事	脇田 亮治

(敬称略、五十音順)

事務局	健康福祉局生活衛生部食品衛生課	動物愛護センター
	保健センター代表	健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課
	健康福祉局健康部健康増進課	健康福祉局生活福祉部保護課
	防災危機管理局地域防災課	住宅都市局住宅部住宅管理課
	緑政土木局緑地部緑地管理課	
	教育委員会事務局学校教育支援部義務教育課	

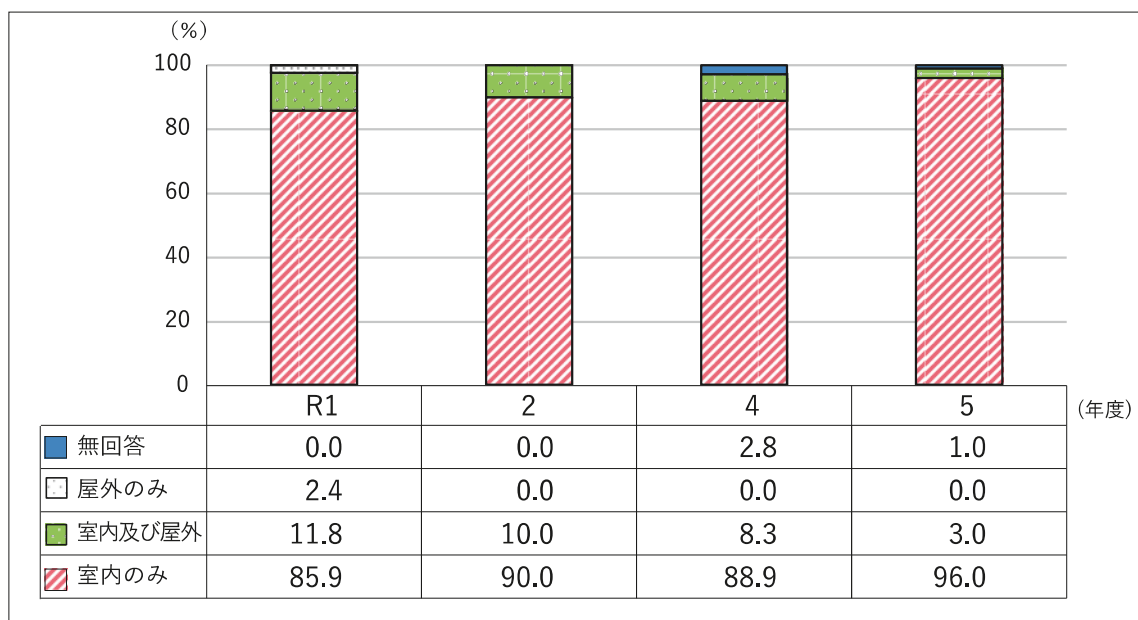
イ 協議会の概要

	日時	内容
第1回	令和6年8月30日（金） 14:00～16:00	・プランに基づく事業の実施状況、プラン見直しに向けた市民アンケート結果、課題に対応するための方針や施策を説明 ・プラン見直し原案の説明・意見聴取
第2回	令和6年10月31日（木） 14:00～16:00	・第1回協議会を踏まえたプラン見直し中間案の説明・意見聴取
第3回	令和7年2月14日（金） 14:00～16:00	・第1回、第2回協議会を踏まえたプラン中間見直し最終案の説明・意見聴取

(3) 統計資料

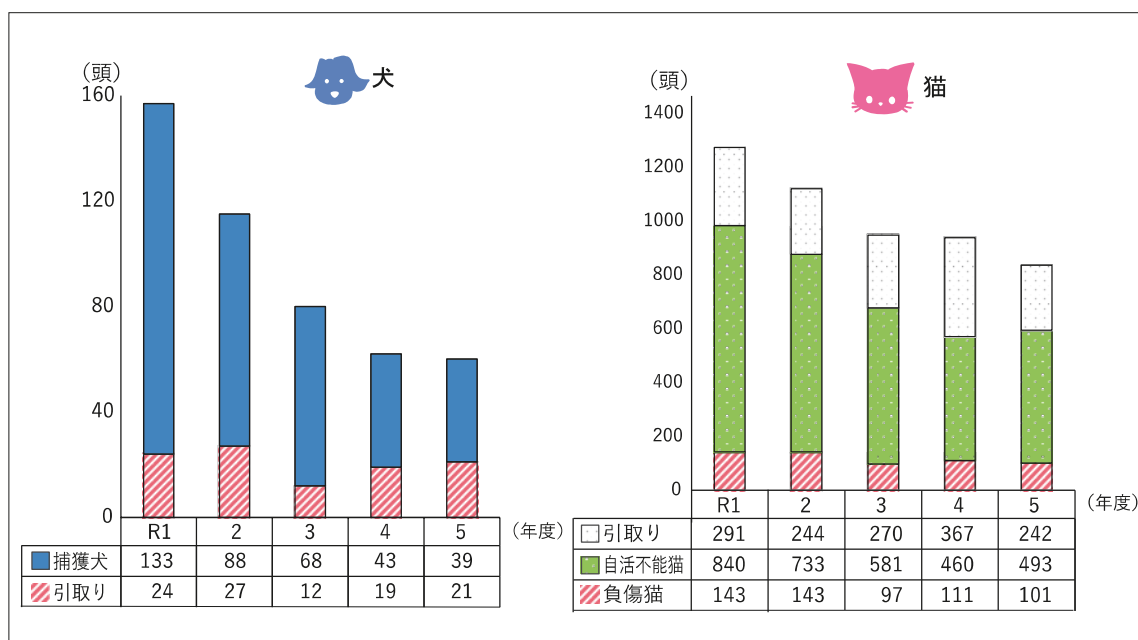
「第1章 計画の基本事項 2 本市の現状」に掲載している統計データについて、令和元年度から令和5年度までの数値をまとめました。

猫を飼っている場所（市民アンケート結果）



猫を室内で飼育する割合は増加傾向にあり、室内飼育が定着していると考えられます。

犬猫の収容頭数

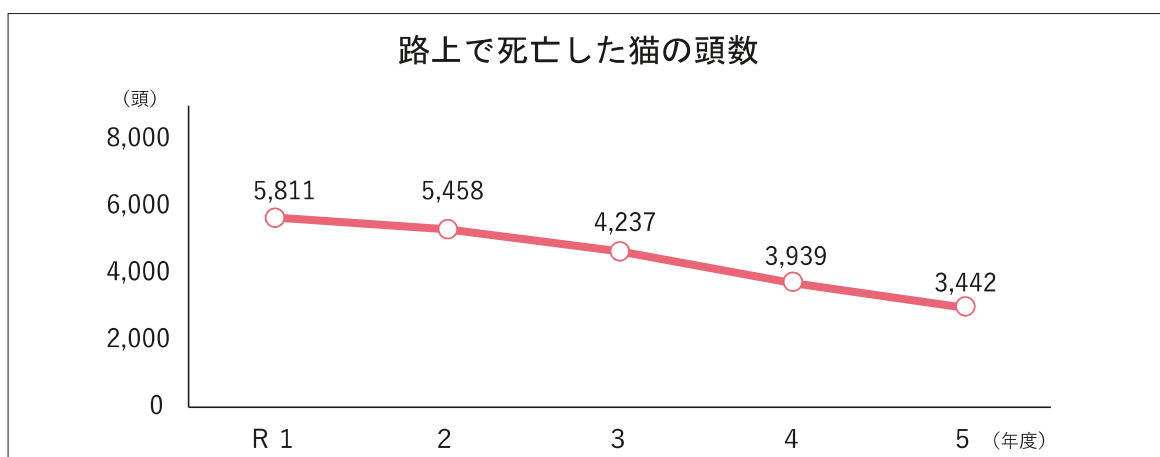


犬猫ともに収容頭数は減少傾向にあります。捕獲犬、自活不能猫の収容が減っている一方で、飼主からの引取りは令和元年度以降減っていません。

犬猫の引取り理由

年度	犬 (頭)					猫 (頭)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
飼主が病気・死亡など	14	6	6	11	14	74	70	60	104	63
引越	5	9	2	7	2	12	17	59	50	43
飼育管理することができない	1	4	2	0	2	45	15	59	130	86
迷惑をかける	1	0	1	0	0	5	0	0	0	1
家族が病気・アレルギー	1	4	0	0	2	1	2	10	1	2
攻撃的な性格	0	3	1	1	0	0	1	0	0	0
飼育費用負担ができない	2	1	0	0	1	9	18	0	8	3
計画外の繁殖	0	0	0	0	0	110	79	73	61	35
その他	0	0	0	0	0	35	42	9	13	9
合計	24	27	12	19	21	291	244	270	367	242

犬猫ともに飼主が病気や死亡などにより引き取られるケースが多く、猫では計画外に繁殖させてしまったり、のら猫を安易に拾ってきたり、飼主が高齢のため継続して飼育管理することができなくなるといった理由も多くなっています。

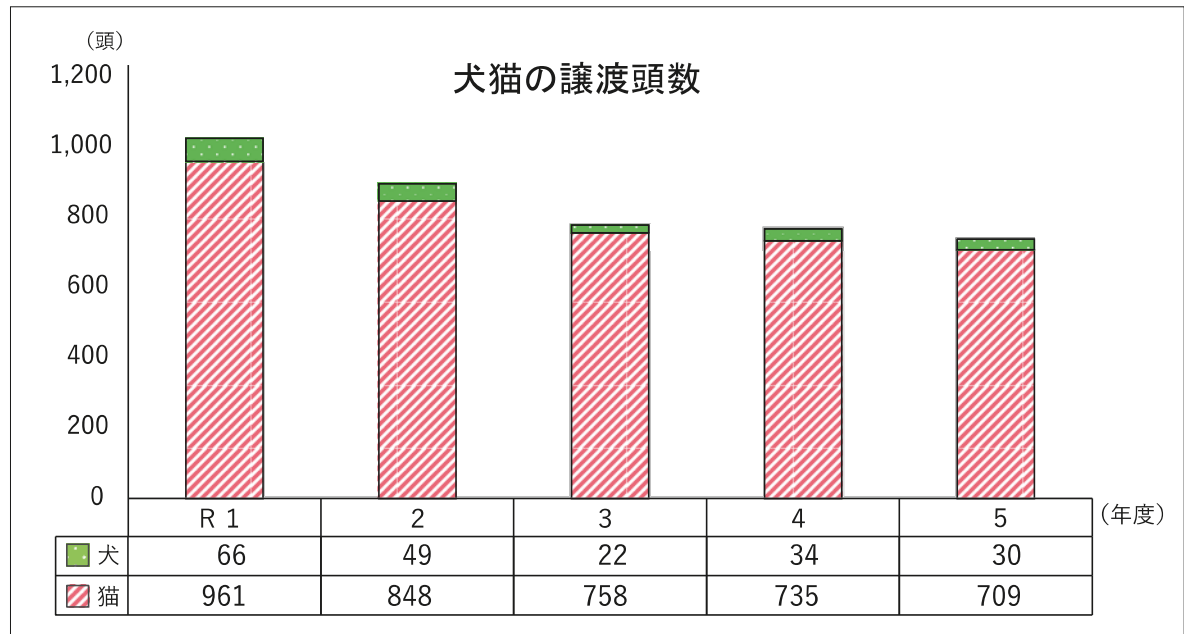


プランに沿った取り組みを開始した令和2年度以降も減少傾向にあり、市内に生息するのら猫が減少していることが考えられます。

多頭飼育崩壊による引取り数

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
犬	件数	0	0	0	0	0
	頭数	0	0	0	0	0
猫	件数	7	3	5	11	2
	頭数	120	66	85	239	56

猫の多頭飼育崩壊は依然として発生しており、愛護センターでは常時多数の成猫を飼育しています。



犬猫の収容頭数の削減に伴い、譲渡頭数は減少しています。収容した犬猫の譲渡を推進するため、SNS 等を積極的に活用し周知するとともに、身近な場所での譲渡会を開催しています。

いのちの教室の実施実績

	令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		令和 5 年度	
	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数	開催回数	参加人数
小学校	0	0	0	0	2	61	0	0	1	29
トワイライト スクール・ルーム	9	367	10	201	9	195	14	460	16	452
その他	—	—	10	309	8	372	6	283	5	250

※ 令和元年度までは愛護センター、令和 2 年度からはサポートセンターが実施

子どもたちに命の大切さを伝える事業として、「いのちの教室」などの事業を引き続き実施しています。

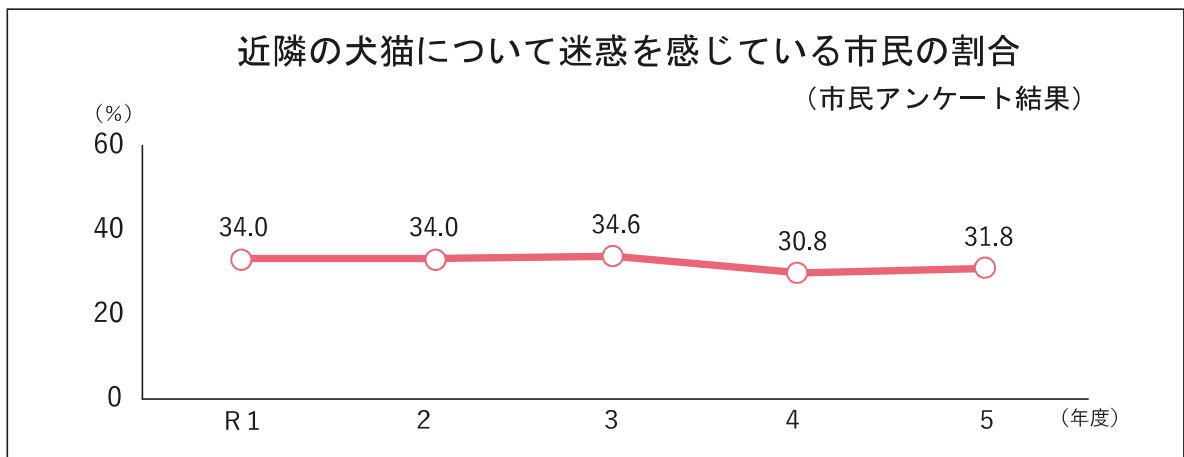
犬猫に関わる苦情件数



	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
糞・毛の始末、臭い	627	566	590	565	595
鳴き声等	287	285	312	312	342
放し飼い等	174	168	189	203	232
合計	1,088	1,019	1,091	1,080	1,169



	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
糞・尿、臭い	1,174	1,065	928	951	1,006
鳴き声等	373	391	277	319	321
器物の破損等	12	17	10	8	13
合計	1,559	1,473	1,215	1,278	1,340



本市には犬猫に関わる苦情が、引き続き多く寄せられています。また、近隣の犬猫について迷惑を感じている市民の割合は依然として 30% 台から減少していません。

寄附金の実績と、寄附金を活用した取り組みの内訳

	令和元年度	令和2年度※	令和3年度	令和4年度※	令和5年度※
名称	目指せ殺処分ゼロ！犬猫サポート寄附金				
実績	1,349件	2,538件	1,714件	2,017件	1,612件
	約4,200万円	約6,500万円	約7,400万円	約7,700万円	約7,000万円
主な取り組み内容	のら猫の避妊去勢手術、愛護センターの犬猫の飼育や治療など、譲渡ボランティアへの支援、譲渡会の開催等 左記を継続 譲渡犬猫の飼主への支援、動物愛護の普及啓発、 愛護センターの犬猫の避妊去勢手術等				

※ ガバメントクラウドファンディング「すべての命を救う未来へ！犬猫サポートプロジェクト」での実績も含む。

ガバメントクラウドファンディングも活用し、毎年、全国の多くの方から寄附をお寄せいただいております。殺処分ゼロを目標として、愛護センターでの犬猫の飼育や治療、ボランティアへの支援物資の費用だけでなく、のら猫の避妊去勢手術の費用にも活用しています。